安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品の特定:

製品名	:	KURE/CRC 5-56
製品分類	:	防錆・潤滑剤(エアゾール)
主な用途	:	各種金属パーツの防錆・潤滑
製品番号	:	1001, 1045, 1026, 1004, 1005, 2001, 2004
整理番号	:	1001-8

会社情報:

会社名	:	呉工業株式会社		
住 所	:	〒153-0043 東京都目黒区東山1-16-13		
担当部門	:	商品部		
電話番号	:	03-5773-2344	FAX番号	: 03-5773-2392
緊急電話番号	:	03-5773-2344		
作成者	:	商品部		
作成日	:	2002年4月1日	改訂日	: 2014年8月19日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 :

爆発物	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
エアゾール	区分1
支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性 :

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵/ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	区分1

環境に対する有害性 :

水生環境有害性(急性)	分類できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類対象外

ラベル要素

絵表示

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
高圧容器：熱すると破裂のおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
軽度の皮膚刺激
眠気またはめまいのおそれ

注意書き

【安全対策】 :

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱／火花／裸火／高温のものから遠ざけること。－禁煙。
裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
取扱後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所で使用すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【応急措置】 :

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

【保管】 :

換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
日光から遮断し、40℃を超える温度にばく露しないこと。

【廃棄】 :

内容物／容器を各都道府県の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険性 :

液化ガスが皮膚に触れると凍傷を生じる恐れがある。

---

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

含有成分及び含有量

化学名	含有量wt%	CAS No	安衛法*	PRTR法
潤滑添加剤	<10	非公開	非該当	非該当
防錆添加剤	<10	非公開	非該当	非該当
鉱物油	10～30	非公開	該当	非該当
石油系溶剤	45～65	非公開	非該当	非該当
プロパン	10～30	74-98-6	非該当	非該当
ブタン	10～30	106-97-8, 75-28-5	該当	非該当

*: 労働安全衛生法の通知対象物質

---

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄水で15分以上洗眼し、症状により速やかに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 石鹸水で充分に洗浄すること。外観の変化、痛みがある場合には、速やかに医師の診断を受けること。

吸入した場合 : 多量に蒸気・ミスト等を吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、新鮮な空気を吸わせる。症状により速やかに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 水で良く口の中を洗浄する。直ちに医師の診断を受けること。

---

5. 火災時の措置

使用可能な消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、砂

消火方法 : 可燃性のものは周囲から速やかに取り除くこと。
火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。
消火作業の際は、保護用具を着用して、風上から行うこと。
大規模火災には泡消火剤を使用すること。

消火を行う者の保護 : 適切な保護用具(耐熱服、手袋、呼吸保護マスク等)を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 :
① 保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
② 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
③ 屋内で漏出した場合は、十分に換気を行う。

環境に対する注意事項 : 漏出区域周辺を洗浄した洗浄液を、地面や排水溝等公共用水域に流さないよう留意する。

除去方法 :
① 付近の着火源、高温体、可燃物を素早く取り除く。
② 少量の場合、砂等の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に火花が発生しない用具を使用して回収する。
③ 多量の場合は、土のうなどで流出を防ぎ、安全な場所に導いてから密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
④ 回収廃棄物は自ら処理するか、又は許可を受けた産業廃棄業者等に委託して処理する。

7. 取扱い及び保管上の措置(関連法規に準拠して作業すること)

取扱い上の注意 : 労働安全衛生法等の関連法規に準じて作業する。
① 密閉された場所で使用する場合は、局所排気装置を設け、適切な保護具を着用すること。
② 火気、スパーク、高温体の周囲で使用しないこと。
③ 電気機器は防爆構造にする。静電気、衝撃火花等による着火源を生じないようにする。
④ 通電している電気製品、電気装置の近くで使用すると、感電や、ショートによる発火でケガをすることがあるので、注意すること。

保管上の注意 :
① 水がかかる所、湿気が多い場所、40℃以上になる所、直射日光の当たる場所に保管しないこと。
② 火気、スパーク、高温体から避けて保管する。
③ 保管時における関係法規に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

成分	許容濃度	
	日本産業衛生学会	ACGIH
鉱物油(オイルミストとして)	3mg/m^3	5 mg/m^3 (TWA)
液化石油ガス	−	1,800 mg/m^3 (TWA)

−:規定値、勧告値 情報なし

設備対策 : 屋内作業で使用の場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具 :

呼吸器保護具 : 必用に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。

目の保護具 : 必用に応じて防護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体の保護具 : 必用に応じて耐油性手袋、保護衣を使用する。

その他 : 導電性安全靴を使用する。

9. 物理的及び化学的性質　（噴射剤を除く）

	内容液
状態	液体
外観	淡黄色透明
臭い	特異臭
pH	－
融点	－
沸点	－
引火点	79℃
発火点	－
爆発範囲	－
蒸気圧	－
蒸気密度	－
密度	0.82 g/cm^3 （20℃・代表値）
溶解性	水に不溶

－:対象外または情報なし

10. 安定性及び反応性　（噴射剤を除く）

安定性　：　通常の条件下で安定
反応性　（自己反応性）　：　酸化性なし、自己反応性なし、自然発火性なし
反応性　（混触危険性）　：　強酸化剤、強酸類、強アルカリ類
危険有害な分解物　：　燃焼の際は、一酸化炭素を発生する恐れがある
その他の危険性情報　：　特に有用な情報なし

11. 有害性情報

物質名	急性毒性（経口）	急性毒性（経皮）	急性毒性（吸入:気体）	急性毒性（吸入:蒸気）	急性毒性（吸入:粉塵/ミスト）
潤滑添加剤	分類できない	分類できない	分類対象外	分類対象外	分類できない
防錆添加剤	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
鉱物油	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
石油系溶剤	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
プロパン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
ブタン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

物質名	皮膚腐食性/刺激性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	呼吸器感作性	皮膚感作性	生殖細胞変異原性
潤滑添加剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
防錆添加剤	区分2	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
鉱物油	区分2A	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
石油系溶剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
プロパン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
ブタン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

物質名	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	吸引性呼吸器有害性
潤滑添加剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
防錆添加剤	分類できない	区分1	分類できない	分類できない	分類できない
鉱物油	分類できない	区分1	分類できない	分類できない	分類できない
石油系溶剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分1
プロパン	分類できない	分類できない	区分3（麻酔作用）	分類できない	分類できない
ブタン	分類できない	分類できない	区分3（麻酔作用）	分類できない	分類できない

12. 環境影響情報

物質名	水生環境 有害性(急性)	水生環境 有害性(慢性)	オゾン層への 有害性
潤滑添加剤	区分2	区分2	分類対象外
防錆添加剤	分類できない	分類できない	分類対象外
鉱物油	分類できない	分類できない	分類対象外
石油系溶剤	分類できない	分類できない	分類対象外
プロパン	分類できない	分類できない	分類対象外
ブタン	分類できない	分類できない	分類対象外

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : ① 廃棄は、各自治体の条例に従って行う。
② 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は許可を受けた産業廃棄業者等に委託して処理す

汚染容器及び包装 : 必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して、各自治体の条例、関連法規に基づいて廃棄する。

14. 輸送上の注意

① 輸送の際は、容器漏れの無いことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずる。
② 引火性エアゾールの為「火気厳禁」

共通 : 取扱及び保管上の注意の各項に従う。
陸上輸送 : 消防法及び道路法などの定めるところに従う。
海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。
国連番号及び国連分類 :
国連番号 : 1950 (可燃性エアゾール)
国連分類 : クラス2.1
緊急時応急措置指針
指針番号 : 126 (気体-圧縮又は液化(冷却気体を含む))

15. 適用法令

消防法分類 : 第4類 第3石油類(非水溶性液体) 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法 : 危険物 可燃性ガス
通知対象物質 鉱油
ブタン
有機溶剤中毒予防規則 非該当
PRTR法 : 非該当
毒物及び劇物取扱法 : 非該当
高圧ガス保安法 : 適用除外

16. その他の情報

参考文献 : 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂4版
GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び
安全データシート(SDS)(JIS Z 7253:2012)
各原料メーカーのSDS
GHS改訂2版の内容に基づく混合物分類システム(GHS版 経済産業省)

＊備考

使用される環境及び条件については、弊社がコントロールできないため、この情報の使用によって直接的または間接的に損失もしくは損害が生じたとしても、弊社はいかなる責任を負わない。

また、本データシートの内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しているが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではなく、新しい知見により改訂されることがある。

全ての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要である。

本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行うこと。